

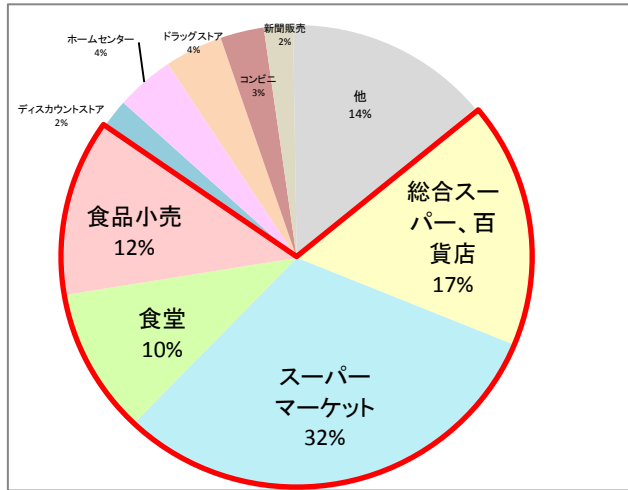
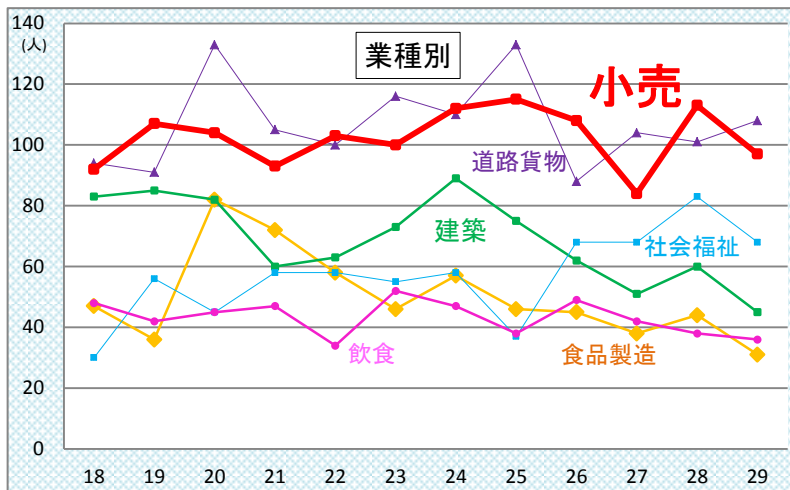
店舗での転倒・墜落・腰痛等の災害を防ぐために ～安心・安全な店舗づくりの推進～



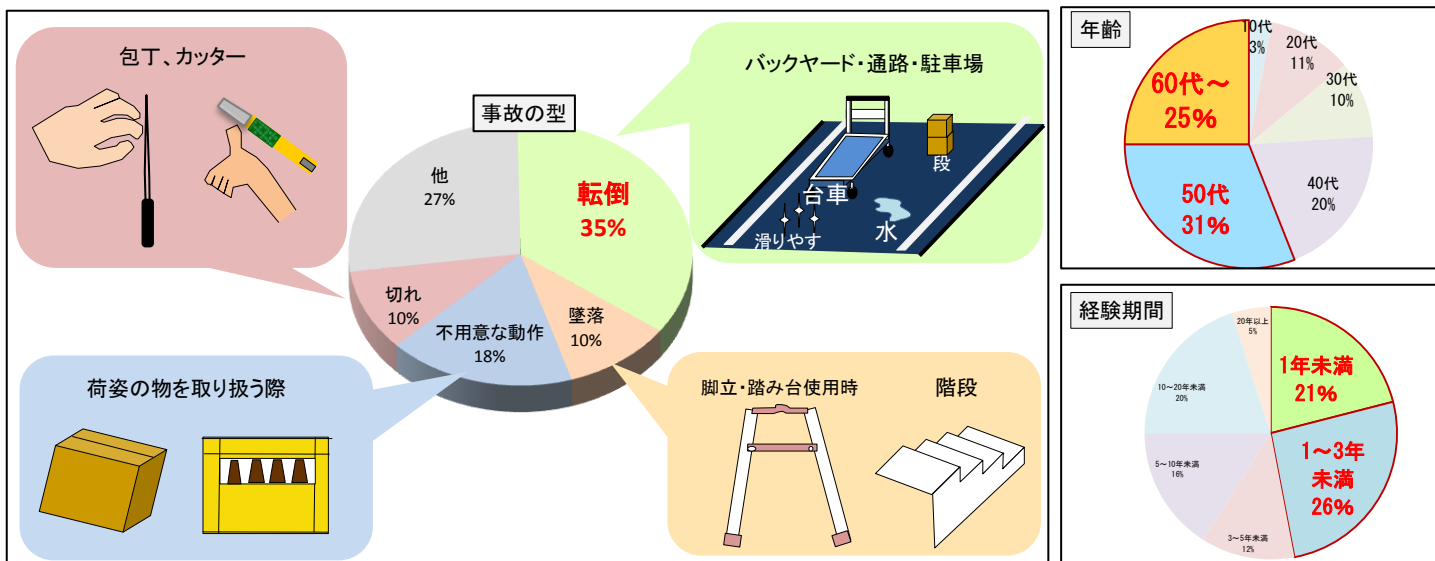
13次労働災害防止計画(初年度)
推進中

小売業の労働災害の特徴

◇百貨店、スーパー等食品の取扱い事業場での発生多い



◇転倒災害が多い。被災者の半数は50歳以上で、経験3年未満での発生多い。



※店舗に労働災害防止の担当者を配置し、働く人の安全意識を向上させる取組

安全の担当者(安全推進者)の配置

安全活動の経験、知識のあるものを1名選任、氏名を掲示

＜主な活動は以下＞

＜職場内の作業方法、危険箇所の改善＞

- ①職場内の4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)
- ②包丁や台車等の安全な取扱い
- ③床面の凸凹、水・油等の解消(危険箇所の解消)

＜働く人の安全意識を向上＞

- ①朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知
- ②安全な作業(脚立、器具の操作等)の教育

働く人の安全意識向上(私の安全宣言例)

各労働者に考えてもらい、掲示等を行う

宣言日 平成 年 月 日
掲示日 平成 年 月 日

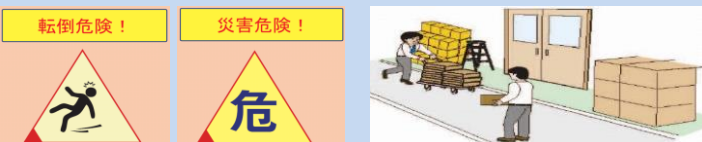
私の安全宣言

労働災害防止のため 私はこうします!

- ・通路上の整理・整頓を徹底する
- ・濡れている箇所があったら、すぐに拭き取る

会社名 (株) スーパー〇〇店
 氏名 東京 太郎

様式は東京労働局HPよりダウンロード可



転倒、墜落・転落、不用意な動作による災害防止対策のポイント

＜墜落・転落＞



◇作業の前に検討！

- ・脚立等を使用する作業をなくす(高所に置かない)
- ・脚立使用の際は作業に見合った(高さ等)用具使用

◇労働者に教育を！

- ・脚立から身を乗り出さない
- ・椅子や机に乗って作業しない
- ・3点(両手・足のうち3点)昇降

＜不用意な動作＞



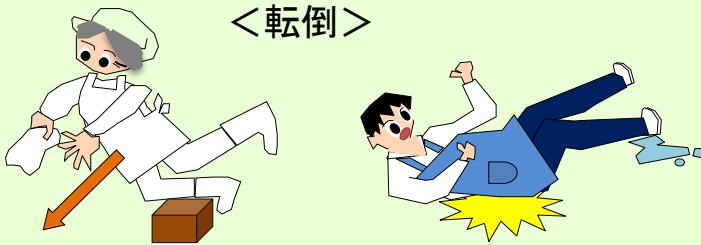
◇作業の前に検討！

- ・重い物の運搬方法を検討(台車使用、複数人対応等)
- ・ムリな姿勢とならない作業空間の確保

◇労働者に教育を！

- ・持つ際の姿勢(を曲げ、腰を落とす)
- ・腰を捻る等の急な動作をしない

＜転倒＞



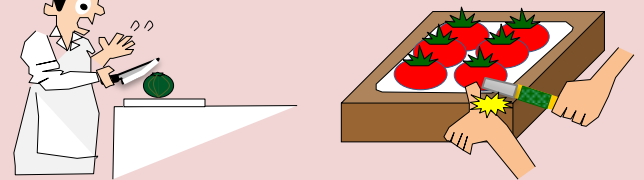
◇作業の前に検討！

- ・バックヤードの4S(整理、整頓、清潔、清掃)
- ・作業場に応じた滑りにくい靴の着用(水、油に適した)

◇労働者に教育を！

- ・水気を確認したらすぐ除去(道具の備え)
- ・通路を常に確保
- ・慌てない、急がない(足元確認)

＜切れ＞



◇作業の前に検討！

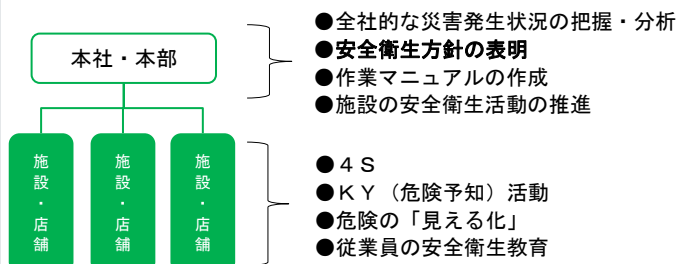
- ・刃の点検(必要に応じた交換、研ぎ)

◇労働者に教育を！

- ・安全な取り扱い方法
 - 包丁使用時、丸い物、固い物等の注意点
 - カッター使用時は手の位置(切る先に手を置かない)・・・etc
- ・所定の位置への片付け(出しっ放し禁止)

働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

小売業・飲食店・社会福祉施設の本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開し、労働災害を減少させることを目的とする運動



安全・安心な店舗・施設をつくるには？

詳しくはこちら →

STOP! 転倒災害 プロジェクト

転倒災害防止に関する意識啓発を図り、転倒災害防止に必要な対策の実施により、職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境を実現することを目的とする取組

やっていますか？



通路及び置き場の区画

濡れやすい箇所にマット

滑りにくい靴(耐油)

転倒しにくい職場をつくるには？

詳しくはこちら →